

# ○はまだ 市議会だより

Vol.10

2008年(平成20年)5月1日発行

## 主な内容

予算審査委員会	P 2~3
議会のあらまし	P 4
浜田市議会の羅針盤	P 5
代表質問	P 6~7
一般質問	P 8~10
視察報告	P 11
議会の動き	P 12



浜田の四季景観100選から 「新緑のブナ林」 弥栄町三里 (弥畠山) 桑原孝夫氏 撮影

# 平成20年度予算を全会一致で可決!!



執行部提案の予算の内容について質問に立つ委員

浜田市一般会計、特別会計および企業会計の平成19年度補正予算並びに、平成20年度当初予算について審査を行ったため、3月12日から3月18日までの間、予算審査委員会を開催しました。

平成20年度は、新再生法適用元年であり、市の健全財政を実現するため聖域なき改革を更に進めていく必要があります。

しかしながら、厳しい改革を断行しながらも、限られた財源のなかで市民サービスの低下に繋がることのないよう、諸施策に対する予算が適正かつ公平に提案されているかなど、多角的な視点をもって審査しました。

また、予算に対し納得できない点に対しては、修正も辞さないという姿勢で修正に関する事前研修会を実施するなど、市民の視点を忘れず真剣に審査に臨みました。

## ▼ 平成19年度、浜田市一般会計補正予算等について

平成19年度浜田市一般会計補正予算（第9号）、平成19年度浜田市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）など特別会計補正予算8案件及び平成19年度浜田市水道事業会計補正予算（第2号）など企業会計補正予算2案件について審査の結果、全会一致で可決しました。

## ▼ 平成20年度、浜田市一般会計予算について

平成20年度の当初予算編成は、「中期財政計画」や「行政改革実施計画」に沿つて

行政改革の着実な実行と計画的な予算編成に努め、主要施策に重点配分された内容です。

予算審査委員会の審査で特に質疑が集中した事業は次のとおりです。

総務文教委員会関係では、新交通システム運営事業について質疑が集中し、弥栄地区の本格運行の開始時期が10月以降に導入予定とされていて地区に対する支援策等について執行部の答弁を受けました。

産業経済委員会関係では、瀬戸ヶ島地区コミュニティセンター整備事業について、同埋立地の利用や整備に対する情報提供のあり方について質

について、医師確保や救急医療体制の強化に対し質疑が集中しました。具体的には、内科系や産婦人科、小児科の医師の確保に努めたいとの執行部の答弁でした。

また、浜田地区広域行政組合負担金について、交付税に算入されていない人件費を負担金に計上することは、財政運営上問題がある等の意見がありました。

福祉環境委員会関係では、浜田医療センター支援事業に

疑がありました。

また、住宅関連経済対策事

業について、新築住宅等に対する助成の期間や助成される金額、市民への周知方法等について執行部の答弁を受けました。

建設都市委員会関係では、浜田駅北地区整備事業について、JRの負担比率についてあまりにも低すぎるのではないか等、厳しい意見がありました。審査の結果、歳入歳出予算の総額321億7千万円の当



予算審査委員会の様子

初予算を全会一致で可決しました。

## ▼ 平成20年度、浜田市特別会計予算について

浜田市国民健康保険特別会計予算など特別会計予算12案件について審査の結果、全会一致で可決しました。

## ▼ 平成20年度、浜田市企業会計予算について

浜田市水道事業会計予算など企業会計予算2案件について審査の結果、全会一致で可決しました。

# 平成20年度 当 初 予 算

**一般会計 321億7,000万円 (前年度当初予算より1.8%減)**

市民1人あたりでは…約52万1千円(※平成20年3月1日現在の人口(61,655人)で算定)

### 収 入

区分	構成比	市民1人あたり(約)
自主財源(市税・使用料等)	36.2%	19万円
依存財源 (地方交付税・市債・国庫支出金等)	63.8%	34万円

### 支 出

区分	構成比	市民1人あたり(約)
総務費	14.0%	73,000円
民生費	22.3%	116,000円
衛生費	13.0%	68,000円
農林水産業費	5.2%	27,000円
土木費	11.5%	60,000円
消防費	3.3%	17,000円
教育費	7.5%	39,000円
公債費	19.0%	99,000円
その他	4.2%	22,000円

### 主な事業

- ・浜田駅北地区整備事業 5億4,000万円
- ・CATV整備事業 6億7,400万円
- ・埋立処分地施設整備事業 4億3,800万円
- ・新交通システム運営事業 1,200万円
- ・住宅関連経済対策事業 800万円
- ・中山間地域コミュニティ再生事業 1,100万円

### 特別会計

127億1,071万4千円

(単位:千円)

会計名	予算額
国民健康保険	事業勘定 6,808,440
	直診勘定 290,666
駐車場事業	59,443
住宅新築資金等貸付事業	3,081
公設水産物仲買売場	18,590
老人保健医療事業	720,365
国民宿舎事業	79,533
公共下水道事業	608,396
農業集落排水事業	1,397,251
漁業集落排水事業	81,967
生活排水処理事業	67,259
簡易水道事業	1,231,586
後期高齢者医療	1,344,137

### 公営企業会計

10億9,001万8千円

(単位:千円)

会計名	収入	支出
水道事業	収益的収支 988,841	940,934
	資本的収支 576,294	1,021,262
工業用水道事業	収益的収支 101,077	99,314
	資本的収支 9,225	10,825

**総額 459億7,073万2千円**

(一般会計+特別会計+公営企業会計)

[議長なんでもメール]

議長や市議会に対するご意見・ご要望・ご提言などお気軽にお寄せください。



# 浜田市議会の羅針盤。

日本一の議会改革を目指して



副議長



議長

原 田 義 則

牛 尾 昭

およそ、議会人として、議席を得て議長を目指すのは、常道と思われますが、一方で議長に就任して「何を為すべき」「何が出来るか」が私に取りまして、重要な課題であります。

平成18年の6月に六つのテーマ計46項目について検討委員会に諮問しました。昨年末までに計七回の貴重な答申を受け、その都度議会改革に反映してまいりました。特に、議会改革検討委員会の答申を受けて、旧議会より編集委員会は解散し、新たに議会広報広聴調査特別委員会が、議会議決を経て誕生いたしました。

イメージは、北海道の栗山町議会がモデルかなと思いますが、同町は一昨年、全国初の議会基本条例を策定し、その中で、町民の意思を反映させるため、意見交換の場として議会報告会を設置しています。議員個々の報告会は、支持者に自分の主觀で話をしますが、条例に基づく報告会では、議決機関としての客観的な判断を述べることになります。

夕張市に隣接する栗山町の橋場議長によると「選挙だけが民主主義の実現の場ではない。議員より見識のある住民が多いし、情報を隠さず、住民の意見を聞くことが重要だ。」と語っています。

国、地方において政治不信が増幅する中で、地方分権一括法施行以後、地方自治体の権限が増してきております。住民代表のチェック機関として、議会のさらなる活性化のための、議会の監視機能の強化、透明性の確保、政策立案能力の向上が求められています。

合併以後、議員研修会には、前埼玉県志木市の穂坂邦夫市長、国民連合(せんたく)の発起人代表で前三重県知事の北川正恭氏、浜田市のアドバイザー久保田章市氏、直近では、県立大学の井上定彦教授にご足労頂いております。

昨年11月からは、全国初となる政務調査費の収支報告書と領収書の全面公開に踏み切りました。以前から、議長交際費もガラス張りで毎月公開をしておりましたが、ホームページ上から色々な状況が読み取れることから、「議長なんでもメール」に貴重なご意見を頂戴しております。

このような中、全国から視察の申込が増加しています。これまで、我々が全国の先進地を訪問するのが常でしたが、立場が逆となりました。栗山町議会がそうであるように、地方の議会であっても市民の視点を最重要として改革に取り組めば全国の範と成ります。

日本中に八百五の市・区議会がありますが、夫々が競い合うことで、全国の議会のレベルが上がると考えます。そうなれば政治に対する信頼は回復するでしょうし、この国が変わると思います。

その日が来ることを信じ、議会挙げて努力いたしますので、市民の皆様方の暖かいご支援をお願いいたします。



# 代表質問

行政全般の政策上の問題について、会派の独自の調査・研究をもとに大局的見地から質問することにより、市民の市政運営に対する関心と理解を深めることを目的に、今回は5つの会派の代表者が質問を行いました。

**施政方針及び  
教育方針について**



新生会(23名)  
**中村建二**

**質問**  
① 行財政改革の評価と認識について、伺う。

② ケーブルテレビの整備方針について、伺う。

③ 医師不足の現状と今後の対応について、伺う。

④ 水産業の振興には地区外船の誘致が重要である事から引き続きポートセールスに取り組む。瀬戸ヶ島地区埋立地利用については具体的な土地利用が図られない状況であり、今後も関係機関と協議を続けていく。

⑤ 法改正の狙いである「教育再生に向け、社会全体が協力して教育改革に取り組む」ことを島根県主導で全国に先駆け3年前より実施しており、今後、地域の素晴らしい人材を更に活かし、「ふるさと教育」を推進していく、伺う。

**答弁**

① 職員数の削減や給与制度の見直しなど、計画以上の取り組みを進めている。今後、一層のスピード感をもつて取り組む。  
② 旧那賀郡エリアは加入者への加入料補助を、旧浜田市エリアは石見ケーブルビジョンへ施設整備費全額を補助し、行政情報の放送等で加入促進図つていく。  
③ 開業医の高齢化が進み、後継者不足が懸念される。医師確保に向け、関係機関との連携を

**施政方針・教育方針について**



平成クラブ(4名)  
**大谷弘幸**

**質問**  
① 農林水産業振興について、問う。  
② 救急体制について、問う。

③ 図書館建設について、問う。

④ 城山公園整備について、問う。

**答弁**  
① 農業における担い手育成は急務で、支援センターを中心に、より地域に密着した支援活動を開発する。林業振興は「水と緑の森づくり税」等を活用した森林整備を積極的に推進する。水産振興は「水産業構造改革プロジェクト」を設立し検討を進める。瀬戸ヶ島埋立地取得は平成5年当時の県との確約を履行しなければならないと考える。

② 消防の広域化は、消防力低下にならないよう慎重に取組みたい。救急医療情報システムについては当面、県の動向を見る。救急患者の受け入れは医療センターと空ベット情報を日々共有しており、受け入れ拒否は生じていない。

③ 図書館の建設は、市の方針を固めて国と協議を進める。現図書館への電算化システム導入は、ニーズへの即応やサービスの充実から、建設と分離して導入に向け検討する。

④ 浜田を代表する文化財である城山公園の今後の総合的整備計画は広く意見を伺いつつ策定に向け検討する。御便殿整備は多くの皆さんの理解・協力が重要であり浜田城の啓発活動とともに浜田城資料館整備に向け働きかける。

**その他の質問**

- ① 組織の活性化と見直し
- ② 自治基本条例制定の考え方
- ③ 後期高齢者医療制度
- ④ 肝炎対策給付事業
- ⑤ 保育料の見直し
- ⑥ 道路特定財源確保に向けた取り組み
- ⑦ 農業施策の取り組み
- ⑧ 地域材の利用促進
- ⑨ 県立大学との共同研究
- ⑩ 企業誘致の取り組み

# 代表質問

## 平成20年度施政方針・ 教育方針について



社会クラブ(4名)  
**新田勝己**

等、について質した。

### 質問

人口減少問題、後期高齢者医療制度、教育方針、不燃ゴミ最終処分場、産業振興、農林業、新交通システム

- ① 浜田市的人口は、10年後に1割減少し、中山間地域は加速すると予測されている。人口減の歯止め策を問う。  
② 後期高齢者医療制度は高齢者に新たな負担が生じる。見直しの検討について問う。

- ③ 地域産業振興策で、住宅建設の促進は、林業、地場産業の活性化について問う。

- ④ 家庭教育でしつけや教育力の低下が言られている。対策について問う。  
① 中山間地域の活性施策、UTターンの促進、雇用の場の確保が重要である。  
(仮称) 定住推進チームを立上げ各施策を総合的に進める。  
② 新たに保険料の負担が生じる場

## 健康で安心して暮らせる まちづくりについて



公明クラブ(2名)  
**三浦美穂**

## 今年の目標「温」の心を 問う



日本共産党浜田市議団(2名)  
**西村健**

繋がる。支援策について問う。

### 質問

- ⑥ 学校教育について、学力向上と德育の考え方、また、特別支援教育の更なる充実について問う。  
① 子育て支援施策について、ひとり親家族の就業支援と乳幼児の医療費の無料化を問う。  
② 障害者施策について、知的、身体、精神障害者への自立支援への考え方を問う。  
③ 環境施策について、CO<sub>2</sub>削減への具体的な取り組みの進捗状況を問う。  
④ 男女共同参画の推進について、特に子育てと仕事の両立支援の考え方を問う。  
⑤ 行財政改革について、人員削減による組織の活性化、技術・技能の継承など人材育成の考え方を

- ④ 労働人口減少を考えると女性の活躍が期待される。家庭において共に協力し合っていくことが大切と考える。  
⑤ 「市民のためのまちづくりのできる職員」を育成する

- 合、保険料を軽減する措置がある。スタート時には多少の混乱が予想されるが良い制度として定着したい。  
③ 住宅建設は、地域経済の振興と技術の伝承に繋がり、林業関連産業の活性化を図ることが重要である。  
④ こども達の心の変化を把握し、家庭で補えない部分は、学校・地域・家庭がお互いに補完し連携していく。

## 問う。

## 今年の目標「温」の心を 問う



日本共産党浜田市議団(2名)  
**西村健**

## 社会的弱者に手を差しのべること は当然のことである。

- 4月から始まる後期高齢者医療制度には、全国で500を超える地方議会が制度の見直しや撤回を求める意見書を採択しており、4月以降の混亂は必至である。  
問題点を把握し、今後に生かす態勢づくりが必要ではないか。また、後期高齢者の健診事業についても問う。  
現在、本庁職員に行っている研修を今後、全市に広げるなど組織態勢の充実を図り、制度の円滑な施行に努める。  
健診事業は、後期高齢者については努力義務とされているが、広域連合では新年度、健康保持・増進のため実施の予定である。

合、保険料を軽減する措置がある。スタート時には多少の混乱が予想されるが良い制度として定着したい。  
③ 住宅建設は、地域経済の振興と技術の伝承に繋がり、林業関連産業の活性化を図ることが重要である。

### 質問

- 昨年は、「偽」の字に象徴される暗い一年だったので、行政から温かいニュースを発信していかなければとの思いから「温」の字を掲げた。

- 格差社会といわれる現在、社会的弱者にこそ温かい行政を行つていただきたい。

# 一般質問

今議会は、14名の議員が30分の待ち時間を使って一般質問を行いました。

## 食料自給率問題について



木村 正行

- 質問** 中国製ギョーザ事件は食料安全と、極端に低い食料自給への不安を広げている。残留農薬の検査もない輸入冷凍食品は経費の安さから学校給食にも使用されているが市内学校給食の実態を問う。
- 答弁** ① 浜田市内の学校給食では中国からの輸入冷凍食品は使⽤していないが、⾷材としては3種とりいれている。
- ② 生計が成り立つ農業とすることは必要。⾷料輸入の規制緩和も自給低下の要因だ。
- ③ 渔業助成を実施中で個別の燃料費助成は考えてない。

## その他の質問

弥栄農産物処理加工施設（第2工場）の処理について

## 小規模小学校の統合問題について



三浦 一雄

- 質問** 浜田市立学校統合計画審議会が、これまでに3回開催され、浜田自治区では有福小・宇野小・上府小・国府小学校を統合して新設校舎建設案が示されたが、今後の具体的な計画（完成年度）について、浜田市の考え方を伺う。
- 答弁** ① 貫校教育方針が論議され、報道されたことにより地域によつて差異が生じているが、どのように対処されるのか伺う。
- ② 審議会のなかで、新設校舎建設場所として、小・中一貫校教育方針が論議され、報道されたことにより地域によつて差異が生じているが、どのように対処されるのか伺う。

## その他の質問

夢のある地域づくりについて

## 夢のある地域づくりについて



小川 泰昭

- 質問** 市の中山間地域の現状において、社会モデルを造るべきと思うが考え方を問う。
- 答弁** ① 地区まちづくり推進委員会の組織化を推進し、本庁、支所の連携を図り、国や県事務の導入を積極的に図る。
- ② 多種多様な取り組みにより、地域と力を合せ交流等定住人口の増加を図りたい。
- ③ 環境に配慮し、消費者に理解される取り組みが、生きがいにつながるよう、各指導機関で連携し、夢のある地域づくりを目指したい。



個人住宅へは平成23年5月より設置が義務化される

## 防火対策について



平石 誠

- 質問** 市が管理する建物の防火対策について問う。
- 答弁** ① 有人の施設は防火管理者を決め管理している。無人施設は既存の消防設備を残し施錠して管理している。市営住宅は、防火管理者を定めるほか、規模に応じて入居者個人の責任で管理するとしている。一部に消防設備の無い物件があり、今後整備する。公営住宅等一般住宅には平成21年度中に火災報知器を全戸に設置する予定である。



西条柿ワイン特区について



向 淳雄

質問

報道によると、種々の規制緩和により西条柿ワインの特区申請がされるとあつた。しかし、施政方針の中に盛り込まれていないが、どうなつているのか問う。

答弁

国会でワインの最低製造数量の規制緩和を盛り込んだ特区法制改正案が、提出されたとの情報を得て申請準備を進めていたが、調整段階であつたため施政方針で触れることができなかつた。なお、申請は本年4月以降と考えているが、市全域で西条柿のみならず、果実全体での認定を受けられるよう、生産者に意向を確認しながら進めていきたい。

- ① 市の危機的財政状況の市民への説明責任について
- ② CATVの加入負担金の内容と情報の公平、負担の公平について
- ③ 地籍調査の実施計画策定
- ④ 地球温暖化対策への取組
- ⑤ 浜田市産業経済部の充実
- ⑥ ガソリン税廃止の影響

その他の質問

- ① 自治区支所機能の充実
- ② 学校給食の安全性対策
- ③ 地籍調査の実施計画策定
- ④ 地球温暖化対策への取組
- ⑤ 浜田市産業経済部の充実
- ⑥ ガソリン税廃止の影響

国民健康保険料の値下げについて



渋谷 幹雄

質問

定率減税の廃止や住民税の値上げ、景気低迷や物価の高騰で、今多くの浜田市民が悲鳴を上げている。21億円の基金がある国民健康保険料を、大胆に値下げすべきではないか。浜田市の国保料の算出は、収入に連動しない資産にも賦課され、二重課税や浜田市にある資産のみへの賦課、相続の未登記など公平公正の観点で問題点も多い。松江市のようにすべきではないか。

答弁

浜田市民の可処分所得が減少し日常生活に影響が出ていることは十分理解しているので、国保協議会で検討したい。

今後の人口推計と維持対策について



川神 裕司

質問

① 人口自然増減率の改善のためには、少子化対策は極めて大切であるが、今後の戦略はどうか、聞きたい。

答弁

社会基盤整備の充実が重要な要素である。例えば図書館の電算化による機能強化の必要性はどうか聞きたい。

- ① 今まで乳児世帯訪問等を通じ、地域全体で子育て世帯応援体制を構築してきた。平成20年度は次世代育成支援計画の見直しのための市民アンケートを実施し、特に子育て世代からの意見も反映させ、子育ての喜び、大きさを感じられる町を目指したい。
- ② 図書館建設は財政上困難であつても機能強化のための電算化は重要である。特に、ICタグ採用のシステム導入は不可欠であり市民ボランティアも含め体制構築を目指す。

ゴミの分別収集について



三浦 保法

質問

① ゴミ処理手数料の値上げについて問う。

② 事業所用の燃やせるゴミ、燃やせないゴミの黄色の収集袋は識別しにくく、間違えやすいため、色分けすべきではないかについて問う。

答弁

① 新可燃ごみ処理施設の建設費等や、ゴミ処理費用の増加から、市民に応分の負担をお願いしたい。値上げ幅は浜田市環境清掃対策審議会に諮問し、住民の意見を反映させ、実施時期は平成21年4月からとしている。

答弁

② これらのゴミ袋は文字の表示だけで区別し、全く同じ黄色を使用しているので、分かりにくいため、ゴミ処理手数料の見直しに合わせて、色別化する考えである。

- ① 教育一般について

黄長石霞石玄武岩の天然記念物としての管理



高原 好人

質問

認識とPRの取り組みの実態はどうか。世界に長浜台地にしか無い、黄長石霞石玄武石をもう少し市民が知る事が大切ではと思うが、認識と現状について問う。

答弁

黄長石霞石玄武岩は、浜田市長浜台地一帯に分布する火山岩で約600万年前に噴出したもので、地質鉱物学上特に貴重であり出来るだけ多くの市民に知つていただくため指定地に、説明板や標柱の設置又印刷物やホームページ等へ記載する。



黄長石霞石玄武岩の現地視察の様子

# エコクリーンセンター 視察報告

### 3R（スリーアール）活動とは

- リデュース —— 廃棄物発生の抑制をすること
  - リユース —— 廃棄物を再使用すること
  - リサイクル —— 消費者の協力により廃棄物を再利用すること

1月18日、議会広報広聴調査特別委員会として「エコクリーンセンター」の視察を行いました。

このエコクリーンセンターは、28年間稼動してきた後野町のごみ処理場施設の老朽化に伴い、総事業費約66億7千2百万円をかけ、平成18年12月1日より供用開始されました。

当時は、施設について以下のような説明を受けました。

この施設は、コンピューター制御により、安定した燃焼処理を行うガス化溶融炉やダイオキシン類の削減対策をはじめとした最新の公害防止技術を駆使した排ガス処理設備を備えており、周辺環境の保全に万全を期しています。

特にダイオキシンの排出を抑えるための温度管理を徹底しておこなう自動制御システムの導入や、煙突からのばいじんを極力抑える、バグフィルターが設置され、最新の環境対策が施されています。

また、我々市民の積極的な取り組みとして、リデュース、リユース、リサイクル、の3R（スリーアール）活動

- リユースは買い物のときマイバックを持参すること。
- 必要な分だけ買うなどの廢棄物発生の抑制をすること。
- リユースは不用になつた廢棄物を再使用すること。
- リサイクルは分別回収に協力し、廃棄物を再利用すること。これは、従来のリサイクル（1R）をさらに拡大したもので、事業者や自治体の取り組みとともに、消費者の協力が不可欠とされています。
- 運営上の問題点としては、以前大量の使い捨てライターが入った袋が混入していくことがあり、火災のおそれや機器の損傷にもつながりかねない危険な物もあつたそうです。
- また、不燃物が混入していると、トラブルの原因にもなり、ダンボールは資源ごみで回収しているので出さないでほしい等の指導を受けました。
- その後、施設の設備などを見学し説明を受けました。



(記) 佐々木豊治

## 議会の動き

2008(平成20)年1月~3月

1月 4日(金)	新年祝賀会
6日(日)	消防出初め式
7日(月)	議会広報広聴調査特別委員会行政視察(広島県三次市議会)
9日(水)	議員定数等調査特別委員会
11日(金)	議会広報広聴調査特別委員会(市議会だより編集) 産業経済調査会(金城自治区内現地調査)
15日(火)	議会運営委員会 議員定数等調査特別委員会
18日(金)	議会広報広聴調査特別委員会(浜田市エコクリーンセンター視察)
21日(月)	議員定数等調査特別委員会
22日(火)	三隅火力発電所2号機建設要望書持参~中国電力(株)本店(議長、副議長)
23日(水)	愛媛県議会(地域活性化特別委員会12名)行政視察来浜
24日(木)	特別交付税陳情上京(副議長) 総務文教委員会 鹿児島県薩摩川内市議会(議会運営委員会11名)行政視察来浜
25日(金)	ひろしまはまだ会新年総会(副議長)
28日(月)~30(水)	会派(社会クラブ)行政視察(大分県臼杵市、福岡県行橋市、鞍手町)
29日(火)	石川県小松市議会(議会運営委員会11名)行政視察来浜 浜田市長見町自治会陳情
31日(木)	議会運営委員会
2月 1日(金)	静岡県島田市議会(会派2名)行政視察来浜
3日(日)	道路特定財源確保に向けた島根県総決起大会
5日(火)	建設都市調査会
7日(木)~8(金)	全国市議会議長会(第83回評議員会)上京(議長)
8日(土)	福祉環境調査会
12日(火)	予算審査調査会 全員協議会
13日(水)	産業経済調査会
18日(月)	島根あさひ社会復帰促進センター調査特別委員会 議会運営委員会
19日(火)	浜田市議会議員研修会 総務文教調査会

25日(月)	産業振興講演会
2月 26日(火)	3月定例会開会 常任委員会 全員協議会 議会運営委員会
27日(水)	本会議 会派代表質問
28日(木)	本会議 個人一般質問 議会広報広聴調査特別委員会(市議会だより編集委員会)
29日(金)	本会議 個人一般質問
3月 3日(月)	本会議 個人一般質問 島根あさひ社会復帰促進センター調査特別委員会(工事現場視察)
5日(水)	本会議 追加提案 議案質疑 委員会付託
6日(木)	総務文教委員会
7日(金)	福祉環境委員会
8日(土)	杵東保育園新園舎竣工式
9日(日)	リハビリテーションカレッジ島根卒業証書授与式
10日(月)	産業経済委員会
11日(火)	建設都市委員会
12日(水)	予算審査委員会 議会運営委員会
13日(木)	予算審査委員会
14日(金)	予算審査委員会
17日(月)	予算審査委員会 浜田市議会地產地消条例専門委員会
18日(火)	予算審査委員会
19日(水)	島根県立大学卒業証書授与式
20日(木)	中山間地域新たな「郷」の時代を創る全国フォーラム
21日(金)	本会議 表決 全員協議会 議会運営委員会 犯罪のない安全で安心なまちづくり啓発広告塔除幕式
23日(日)	浜田医療センター起工式 主要地方道桜江金城線長谷西工区開通式
25日(火)	議会広報広聴調査特別委員会(市議会だより編集)
26日(水)	山梨県富士吉田市議会(会派2名)行政視察来浜 島根経済同友会石央支部新春放談会(議長、副議長)
27日(木)	浜田市議会 行財政改革推進特別委員会 旧有福村有財産共同管理組合議会



平成20年度は、国が示した地方財政における新たな財政制度の適用元年であり、3月定期会の予算審査委員会では、聖域なき改革を更に進め、健全財政の実現に向け活発な議論がなされました。また、議会改革の一環として、今議会から代表質問制を取り入れ、各会派代表が市長の施政方針等に対し、様々な視点から質問し論戦が繰り広げられました。われわれ議会から代表質問制を取り入れ、各会派代表が市長の施政方針等に対し、様々な視点から質問し論戦が繰り広げられました。われわれ議会から代  
 ばつてまいります。(記) 平石誠 ごとに充実した紙面づくりに委員一同がんばっています。 今后も、回を重ねるう、先進地の事例を参考にしながら編集に携わっております。

あとがき